

名張でのまちおこしイベントに参加して

近畿大学工業高等専門学校 近大高専名張市まちおこしグループ 森本 祐生

1、グループが活動を始めたきっかけ・活動の目的

私たち「近大高専名張市まちおこしグループ」は名張市と協力し、イベントを成功させるためにスタッフとして参加しました。本イベントの実行委員会会長が本校の後援会会長でもあることからイベントへの協力依頼がきました。本イベントに協力することにより本校が名張市に溶け込み、市民の皆さんにも親しみを感じていただけるよう全面的に協力することになったことが活動を始めたきっかけです。

イベントの目的は名張以外から参加した人たちに名張市の魅力を知っていただき、名張市を訪れる機会を増やし、名張市の発展に寄与することです。

2、グループの構成

メンバーは、本校の野球部・サッカー部・柔道部・ソフトテニス・軽音部・ボランティアグループ・ロボット技術部・その他希望学生からなる総勢約 200 人の学生で、イベントの開催時にのみ結成したグループです。



図1 近大高専名張市まちおこしグループ 集合写真

3、現在の主な取組内容

去年の11月30日と12月1日に名張市で開催された、①圏際・食彩・文化祭 ご当地グルメでまちおこし in 名張×B-1 グランプリ（以後、B-1 グルメとする）、②隠（なばり）街道市、③名張 元気フェアの3つのイベントの各運営の進行スタッフ、バンド、出しものなどに参加しました。

これら3つのイベントの合計の入場者は11月30日が7万人、12月1日が10万人と大変多くの方々に来ていただきました。

4、地域との連携の具体的な状況

B-1 グルメでは主に、出店の手伝いや地域のスタッフと共に会場の清掃や駐車場の交通整理などを行いました。

隠（なばり）街道市では、やなせ塾という場所を提供していただき小さな子供を対象にした「ねんど消しゴム作り」や「スライム作り」、本校軽音部による「バンド演奏」を行いました。また、街道ではロボット技術部による「ロボットのデモンストレーション」や、「第2回怪人二十面相なりきりコンテスト」に出場したサッカー部の学生もいました。

さらに、名張 元気フェアでは本校のPRを行いました。



図2 隠（なばり）街道市 消しゴム作りの様子



図3 隠（なばり）街道市 スライム作りの様子



図4 隠（なばり）街道市 軽音部ライブとロボット技術部デモンストレーションの様子



図5 名張 元気フェアー 学校 PR の様子

5、これまでの取り組み成果・課題

今回、私は「近大高専名張市まちおこしグループ」の一員としてイベントに参加しましたが、これまでも数人の友人でいくつかのイベントに参加していました。

これまでに参加した主なイベントには以下のようなものがあります。

- ・名張市上八町七夕祭
- ・美旗市民センター祭り
- ・曾爾少年自然の家、本校でのサイエンススクール
- ・隠（なばり）街道市（23、24年度）

6、今後の方向性・将来の夢

これからもイベントに積極的に参加して行きたいと考えています。名張市には、若い人が少なく、祭り、清掃、防災訓練などのイベントにおいて人手不足で困っているところがたくさんあります。

そこで、私たちの学校から必要な人数が各イベントに参加し、協力していければと思います。イベントに参加することにより、地域の方々とコミュニケーションが取れ、私たちもイベントを楽しんでいます。